

# びわの平ペアマッチ競技

## 【 競 技 規 定 】

- 日 時 予選:9月14日(土) 午前7:44～ OUTスタート(11:00～2回戦予定)  
決勝:9月28日(土) 午前8:00～ OUTスタート(10:48～決勝・3位決定戦予定)
- 場 所 びわの平ゴルフ倶楽部
- 競 技 規 則 日本ゴルフ協会ゴルフ規則および当倶楽部競技規則を適用する。
- 委員会の裁定 競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。
- プレーの条件 予選:9ホールマッチプレー1・2回戦及び順位決定戦(5位入賞4ペア、以下敗者)  
決勝:9ホールマッチプレー準決・決勝・及び3位決定戦  
**\* 変則オルタネート方式(ティーショットは2人で打ちその後は1つの球を交互にプレーして競技する。)**1人4ホールを採用  
**\* 16ペア32名限定、組合せは受付順の抽選会を行うものとするが、参加チームが少ない場合は競技委員会で決める。**  
\* 本競技は“9ホール終了”をもって成立とし、9ホールを終了できなかった場合は競技を短縮する。  
\* 1回戦の敗者も順位決定戦を行うので、全員が1日18ホールを戦えます。  
\* 参加チームが少ない場合は不戦勝となる場合がある。  
\* 参加チームが8組に満たない場合は、アウトのみからのスタートに変更する場合がある。
- ハンディキャップ \* 大会3日前のハンディキャップインデックスを参照してコースHDとする。  
**\* 対戦 HD の上限は 4 迄とする。**  
\* 各チームのHD合計を求め、そのHD差を対戦コースのホール難易度(ストロークインデックス)の小さい(難しい)方から各1打ずつHD差を付与する。9ホール競技のため、HD差は50%(四捨五入)で換算する。  
例)①HD2とHD10の2名と②HD3とHD4の2名のチームの場合  
→ ①のチームのHD合計12、②のチームのHD合計7  
→ HD差は12-7=5  
→  $5 \times 0.5 (50\%) = 2.5$  →四捨五入してHDを3とする。
- タイの条件 9ホールを終わり順位がタイの場合は  
① HD合計の少ないチーム ② 年齢合計の多いチームを上位とする。  
**\*上記でも結果の出ない場合はアプローチ対決で上位を決定する。**
- 使用球の規格 本競技では公認球に限って使用を認める。
- 使用ティー 使用ティーはどこを使用しても良いが参加申込時に使用ティーの申告をすること。また、スタート前まで変更を認める。  
\*使用するグリーン及びティーイングエリアについては、競技委員会がその都度変更するものとする。
- キャディー 正規のラウンド中、プレーヤーはキャディーの使用を禁止する。  
このローカルルールの違反の罰:「ローカルルールひな型H-1.1」を適用する。
- 競技終了時点 競技委員長(又は競技委員長が代理人と認めたる者)が発表なされた時点をもって競技を終了とみなす。
- 参加資格 ① 当倶楽部会員でJGA/USGAハンディキャップインデックスを保有する方。  
② 1ペア2名(男女混合可)※年齢及びHD等の制限なし。  
③ **大会10日前までに直近のスコアカード1枚以上の登録を必須とする。**  
(注) 競技委員会は競技中を含めていつでも、出場に相応しくないと判断した競技者の参加資格を取り消すことができる。※ 参加資格を取り消された場合は参加料を返金しない。
- 不当なプレーの遅延 これについてはペナルティを科すものとする。但し、1回目は注意に留め、それでも遅延が改善されない場合は、その組全員に2打罰を科すものとする。また、プレーの遅延についての基準は次の通りとする。正当な理由が無く、ハーフ2時間15分以上の場合及び前の組との間隔が17分以上を目安とする。
- 入 賞 優勝～5位、6位、参加賞(入賞以外)とする。
- 参 加 費 1チーム2名/3,300円(税込)※参加料は1チーム分の参加費となります。

# ローカルルールと競技の条件

## 1. アウトオブバウンズ(規則 18.2)

- (1) アウトオブバウンズは白杭のコース側の地表レベルで結んだ線によって定められる。
- (2) 球が境界線として定義された境界物を越えた場合、その球はアウトオブバウンズとなる。

## 2. ペナルティーエリア(規則 17)

- (1) ペナルティーエリアがコースの境界線に接している場合、そのペナルティーエリアの縁はその境界線まで達し、その境界線と一致する。
- (2) No.16 ホールのみ、1 打目がコース側のレッドペナルティーエリアの境界を越えた場合は、ドロップエリアより前進 3 打目からプレーすることができる。 ※ドロップが条件となります。
- (3) レッドペナルティーエリア内にあるネットに球が触れている場合は、ラテラル救済をすること。なお、ネットは動かさないものとする。

## 3. 異常なコース状態(動かさない障害物を含む)(規則 16)

### (1) 修理地(プレー禁止区域とする)

- ① 青杭もしくは白線で完全に囲まれている区域
- ② レフェリーが異常であるとみなした地面の損傷箇所(例:車両の移動による損傷)。
- ③ パッティンググリーン上やフェアウェイの長さかそれ以下に刈ったジェネラルエリアにペイントされた線やドット(ヤードージマーキングなど)は規則 16.1 に基づいて救済を受けることができる修理地として扱われる。そのペイントされた線や穴がプレーヤーのスタンスに対してだけ障害となる場合、障害は存在していないものとして扱う。

### (2) 動かさない障害物

- ① 動かさない障害物と白線で結んだ区域は 1つの異常なコース状態として扱う。
- ② 動かさない障害物によって囲まれて造園された区域(花壇や低木の植込みなど)とその区域に生長しているすべての物は 1つの異常なコース状態として扱う。
- ③ U字排水溝はジェネラルエリアの動かさない障害物として扱われ、ペナルティーエリアではない(ただし、ペナルティーエリアとしてマーキングされている区域の中にある U 字排水溝を除く)。
- ④ 人工の表面を持つ道路に隣接しているU字排水溝はその道路の一部として扱う。

## 4. 不可分な物 次の物は罰なしの救済が認められない不可分な物となる。

- (1) ペナルティーエリア内の人工の擁壁や枕木等。

## 5. クラブと球の仕様 (1) 適合ドライバーヘッドリスト:ローカルルールひな型 G-1 を適用する。

このローカルルールに違反するクラブでストロークを行ったことに対する罰一失格

### (2) 溝とパンチマークの仕様:ローカルルールひな型 G-2 を適用する。

このローカルルールに違反するクラブでストロークを行ったことに対する罰一失格

### (3) 適合球リスト:ローカルルールひな型 G-3 を適用する。

このローカルルールの違反に対する罰一失格

### (4) 46 インチを超える長さのクラブの使用を禁止する:ローカルルールひな形 G-10 を適用する。

このローカルルールに違反するクラブでストロークを行ったことに対する罰一失格

### (5) 壊れた、または著しく損傷したクラブの取り換え:ローカルルールひな形 G-9 を適用する。

## 6. プレーの中断(規則 5.7)

プレーの中断と再開には次の合図が使われる。

危険な状況のため即時中断: 1回の長いサイレン

通常の中断: 3回の連続するサイレン

プレー再開: 2回の短いサイレン

注：危険な状況のためにプレーが中断された場合、すべての練習区域も直ちに閉鎖される。プレーヤーがこの閉鎖を無視して練習した場合は懲罰的な措置をとることになる(委員会の措置 5H)

## 7. 練習

(1) ラウンド前とラウンドとラウンドの間の練習(規則 5.2b) は次の通り修正する:

プレーヤーは、その日の自分の最終ラウンドのプレー終了後にそのコースで練習してはならない。ただし、指定練習区域を除く。

●指定練習区域:倶楽部ハウス横の2面及びNo.10ホールスタートハウス下の1面の3面のみとする。

(2) ホールとホール間の練習(規則 5.5b)は次の通り修正する:

2つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。

- 終了したばかりのパットニンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。
- 終了したばかりのパットニンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパットニンググリーン面をテストする。

## 8. 目的外のパットニンググリーン

No.15 ホールの予備グリーンはそのカラーも含め目的外のパットニンググリーンとする。

## 9. スコアカードの提出

プレーヤーのスコアカードは、プレーヤーの両足が所定のスコアリングエリアから出た時点で委員会に提出されたことになる。スコアカードを提出する前にスコアリングエリアを離れる必要のあるプレーヤーはスコアリングオフィシャルにその意思を告げなければならず、そしてすぐに戻らなければならない。

## 10. 行動規範

プレーヤーまたはそのキャディーにエチケット違反、または非行があった場合には、委員会は警告、制裁を課すことがある。また、重大な非行があった場合には規則 1.2a に基づいて失格とする場合がある。

行動規範の違反となる行動の例

- ・ コースの保護をしない(例えば、バンカーをならさない、ディボットを元に戻さないなど)
- ・ 受け入れられない言動をする
- ・ クラブやコースを乱暴に扱う(クラブを投げたりコースを損傷させる)
- ・ 他のプレーヤー、競技委員、大会関係者、ギャラリーに失礼な態度をとる
- ・ ドレスコードに従わない
- ・ その他ゴルファーとして相応しくない態度
- ・ 主催者が要請する新型コロナウイルス感染防止対策に従わない

行動規範の違反の罰

- ・ 行動規範の最初の違反—レフェリーからの警告、あるいは競技委員会による制裁
- ・ 2 回目の違反—1 罰打
- ・ 3 回目の違反—2 罰打
- ・ 4 回目の違反や重大な非行—失格